

## 双葉町仮設灰処理第二施設 令和 6 年度維持管理記録(1号炉)

		測定頻度	項目	基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特定廃棄物等処理量		—	処理量 ton	—	1,619.69	1,436.60										
燃焼ガス ※1			運転期間の平均値	—												
	燃焼室温度	連続	測定結果 °C	800以上	840	857										
	集じん装置No.1入口温度	連続	測定結果 °C	200以下	180	180										
	煙突一酸化炭素濃度	連続	測定結果 ppm	100以下	1	1										
たい積したばいじんの除去を行った日		—	冷却設備	—	冷却設備および排ガス処理設備にたい積したばいじんの除去は、仮設灰溶融炉稼働中は自動で行われる。											
		—	排ガス処理設備	—												
排ガス中のダイオキシン類濃度 ※2		1回/年	排ガス採取位置	—	煙突											
	排ガス採取日		—	—	—											
	測定結果通知日		—	—	—											
	測定結果 ng-TEQ/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>		0.1以下	—	—											
排ガス中のばい煙量またはばい煙濃度 ※3		1回/月	排ガス採取位置	—	煙突											
	排ガス採取日		—	4月14日	5月12日											
	測定結果通知日		—	5月2日	5月30日											
	硫酸化物		測定結果 ppm	200以下	0.5未満	0.5未満										
	ばいじん		測定結果 g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	0.08以下	0.001未満	0.001未満										
	塩化水素		測定結果 mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	162以下	0.8	1.3										
	窒素酸化物	測定結果 ppm	250以下	34	26											
排ガス中の放射性物質濃度		1回/月	排ガス採取位置	—	煙突											
	排ガス採取日		—	4月14日	5月12日											
	測定結果通知日		—	4月22日	5月17日											
放射性物質濃度 ※4	測定結果		<sup>134</sup> Cs Bq/m <sup>3</sup>	※5	ND	ND										
			<sup>137</sup> Cs Bq/m <sup>3</sup>		ND	ND										
		合計 Bq/m <sup>3</sup>	ND		ND											

※1 燃焼ガスの各数値は、連続記録計の平均値を示す。

※2 排ガス中のダイオキシン類濃度の測定について、実施していない月は「—」を記載している。

※3 排ガス中のばい煙量、ばい煙濃度の基準値は生活環境影響調査で使用した値である。

※4 NDとは検出下限値未満であることを示している。

※5 排ガス中の放射性物質濃度の基準値は、 $^{134}\text{Cs}$ 濃度(Bq/m<sup>3</sup>)/20(Bq/m<sup>3</sup>)+ $^{137}\text{Cs}$ 濃度(Bq/m<sup>3</sup>)/30(Bq/m<sup>3</sup>)で算出される値が1以下である。